

令和元年度第2回幕別町総合教育会議

日 時：令和2年1月29日(水)16時～

場 所：幕別町教育委員会会議室

① 開会挨拶

② 協議事項

(1) 学校施設の長寿命化計画策定に伴う劣化度調査について

(2) G I G Aスクール構想について

③ その他

④ 閉 会

【配布資料】

資料1 学校施設の長寿命化計画策定に伴う劣化度調査について

資料2 G I G Aスクール構想の実現

劣化度評価とは

文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）」に準じ、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価するもの。

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
D	早急に対応する必要がある。

経過年数による評価
【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	基準
A	20年未満
B	20～40年未満
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標である。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定する。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に設定している。

① 部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

② 部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60.0

③ 健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

- ※ 100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
- ※ 健全度は、数値が小さいほど劣化度が進んでいることを示す。

(健全度の計算例 幕別小学校校舎の場合)

	評価	評価点	配分		
1 屋根・屋上	D	10	5.1	=	51
2 外壁	C	40	17.2	=	688
3 内部仕上げ	C	40	22.4	=	896
4 電気設備	C	40	8.0	=	320
5 機械設備	C	40	7.3	=	292
				計	2,247
				÷	60
				健全度	37

学校施設劣化度評価結果一覧

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある
 : 築30年以上

建物基本情報		劣化状況評価						健全度 (100点満点)	備考
施設名	建物用途	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備			
幕別小学校	校舎	D	C	C	C	C	37		
幕別小学校	屋体	A	C	C	C	C	45		
糠内小学校	校舎	A	A	A	C	C	85		
糠内小学校	校舎	A	B	A	A	A	93		
糠内小学校	屋体	A	C	C	C	C	45		
古舞小学校	校舎	B	A	C	C	C	60		
古舞小学校	屋体	D	B	C	C	C	48		
明倫小学校	校舎	D	C	B	B	B	59		
明倫小学校	屋体	A	C	C	C	C	45		
途別小学校	校舎	B	C	B	B	B	65		
途別小学校	屋体	C	C	B	B	B	62		
白人小学校	校舎	D	C	C	B	B	46		
白人小学校	校舎	A	A	B	A	A	91		
白人小学校	屋体	D	C	B	B	B	59		
札内南小学校	校舎	D	C	C	C	C	37		
札内南小学校	校舎	A	A	A	A	A	100		
札内南小学校	屋体	C	C	C	C	C	40		
札内北小学校	校舎	D	C	C	C	C	37		
札内北小学校	屋体	A	C	C	B	B	54		
忠類小学校	校舎	A	C	B	B	B	67		
忠類小学校	屋体	D	B	A	B	D	71		
幕別中学校	校舎	D	C	B	B	B	59		
幕別中学校	屋体	B	C	B	B	B	65		
糠内中学校	校舎	C	C	C	C	C	40		
糠内中学校	屋体	A	A	A	A	A	100		
札内中学校	校舎	A	B	B	A	A	84		
札内中学校	屋体	A	C	A	C	C	68		
札内東中学校	校舎	D	C	C	B	B	46		
札内東中学校	屋体	D	C	B	B	B	59		
忠類中学校	校舎	A	C	C	C	C	45		
忠類中学校	屋体	B	B	A	C	C	75		

学校施設整備の進め方

- 長寿命化改修の優先順位については、劣化度調査の結果を基本として、改修の効率性等を総合的に勘案して決定する。
- 長寿命化改修は、校舎を優先するものとし、屋体については学校運営等を考慮し実施する。
- 長寿命化計画が対象とする学校施設を第1グループから第4グループに位置付け改修を行うものであるが、社会情勢等により変更する場合がある。
- 長寿命化計画を進めるに当たり、個別の整備内容や手法等については、本町の財政状況を十分に考慮して効率化に努め、毎年度の総合計画3カ年実施計画と合わせて協議する。

	第1グループ	第2グループ	第3グループ	第4グループ
校舎	幕別小学校 札内南小学校 札内北小学校	糠内中学校 札内東中学校 忠類中学校	明倫小学校 白人小学校 幕別中学校 古舞小学校	糠内小学校 途別小学校 忠類小学校 札内中学校
屋体	幕別小学校 糠内小学校 札内南小学校	明倫小学校 古舞小学校 札内北小学校	途別小学校 白人小学校 幕別中学校 札内東中学校	忠類小学校 糠内中学校 札内中学校 忠類中学校

- ☑ 教師の経験知と科学的視点とを掛け合わせ、子供の生活や学びにわたる課題(貧困、虐待等)を早期に発見し、外国人児童生徒等を含めたすべての子供たちが安心して学べ、基礎的学力を確実に身に付けることができるようにケアする(誰一人取り残さない教育)とともに、特異な資質・能力を見出し、大学や研究機関などでの学びの機会につなげる仕組み(特異な能力を持つすべての子供に公正にチャンスを提供する教育)を確立
- ☑ 各学校が客観的なデータに基づいて、校務の効率化を進めつつ、ヒト・モノ・カネ・時間といったリソースを再配分できる自律性を確立
- ☑ STEAMライブラリー(大学や企業・研究機関などの研究開発の素材、動画等の集約・共有化)など、良質な授業のためのコンテンツの提供
- ☑ 教育ビッグデータを活用した新しい社会的価値の創造(データとアルゴリズムの透明性と正当な利用のための共有が課題)

一人一台の
学習者用コンピュータ

高速・大容量・機密性の高いネットワーク

先端技術・教育ビッグデータ

小・中・高等学校・
特別支援学校等

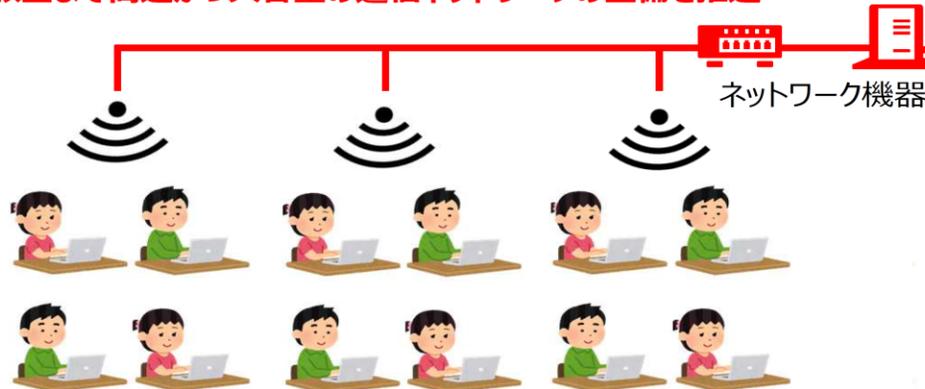


【GIGAスクールネットワーク構想の実現】
約1万校(全学校の1/3)を整備
(国公私対象/1/2補助※公立、私立) : 375億円
※3年計画の1年目(令和4年度までに全校整備)

学校内すべての教室まで高速かつ大容量の通信ネットワークの整備を推進

無線LAN環境

学習者用コンピュータ
一人一台
(3クラスに1クラス分は
地方財政措置の対象)



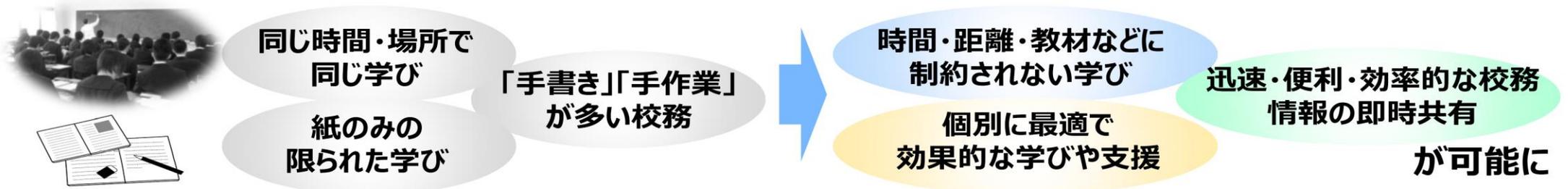
関連別事業により、「一人一台」と「SINETの活用」に向けた実証

【新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業】

- ※ 令和2年度要求・要望額 1,949百万円
- ※ 令和4年度から本格実施に向け、全都道府県・政令市等150校で実証

一人一台コンピュータ・高速ネットワークが可能とする「次世代の学校・教育現場」

- ✓ 2020年度からスタートする新しい学習指導要領では、小学校における外国語教育・プログラミング教育をはじめ、教育内容の専門性が向上。学校における働き方改革も課題。
- ✓ 全国どこでも、質の高い教育活動を可能とする環境整備が不可欠。



デジタル教科書・AIドリル

動画・アニメーション・音声等
を活用し、効果的な学習、
興味・関心を喚起



個々の子供の習熟度や状況
に応じた、きめ細やかな指導、
自動採点による負担軽減



学習記録データに基づき、
効果的な問題や興味のある
ような学習分野が自動表示

遠隔・オンライン教育

過疎地・離島の子供
たちが、多様な考え
に触れる機会が充実
するなど、教育環境
が飛躍的に向上



入院中の子供と教室
をつないだ学びなど、
学習機会を確保



防災機能

無線LANなどのネットワーク環境
の充実により、災害時に避難所と
しての防災機能を発揮

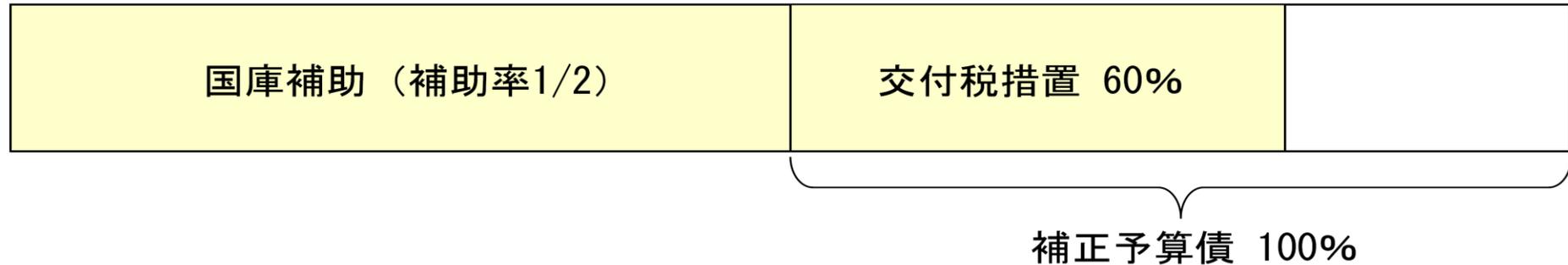
ラジオや防災無線（片方向の情報伝
達手段）と異なり、被災者のニーズ
に応じた情報の収集・発信、安否確
認等が可能



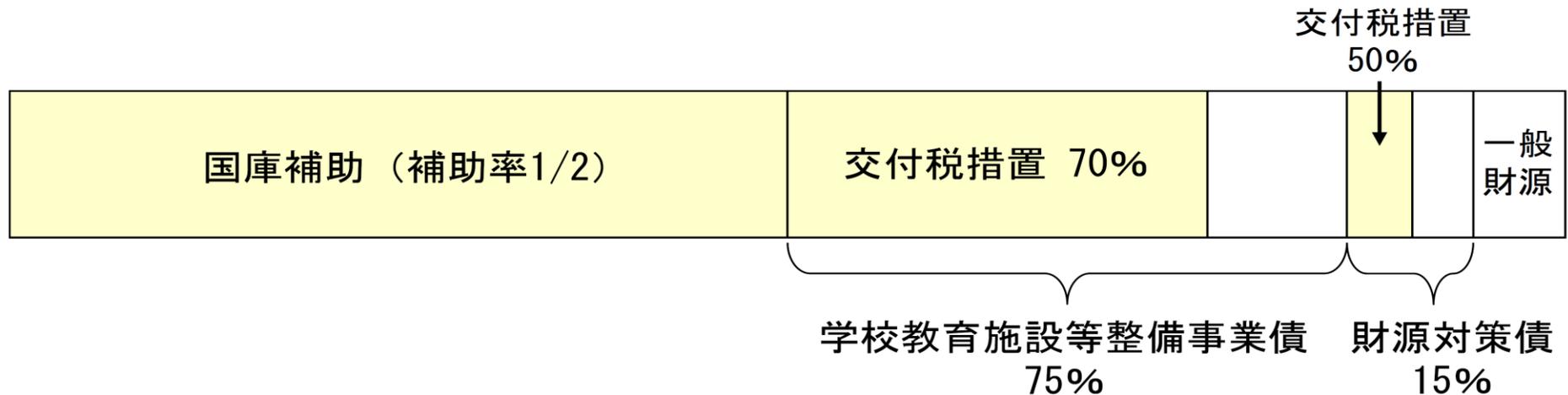
- G I G A学校ネットワーク構想（一人一台コンピュータ、全学校での高速ネットワーク）により、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びが実現可能に。
- あわせて、無線LAN環境の整備により、学校の避難所としての防災機能の向上につながる。

**「GIGAスクール構想の実現」に向けた校内通信ネットワーク整備事業に係る
地方財政措置（イメージ）**

(1) 令和元年度補正予算の場合



(2) 文部科学省において令和元年度補正予算を繰り越し、令和2年度事業として実施する場合



GIGAスクール構想の実現 ロードマップ

～令和時代のスタンダードとしての学校 ICT 環境を整備し、全ての児童一人一人に最もふさわしい教育を～

※Global and Innovation Gateway for All

		2019年度(令和元年度)	2020年度(令和2年度)	2021年度(令和3年度)	2022年度(令和4年度)	2023年度(令和5年度)	2024年度(令和6年度)
		1日に1～2コマ、授業展開に応じて必要な時に「1人1台環境」で、デジタル教科書やAI技術を活用したドリル等のデジタル教材を活用	端末、通信ネットワーク、クラウドをセットで整備 令和元年度補正予算案 2,318億円 (公立:2,173億、私立:119億、国立:26億)	全ての授業で「1人1台環境」でデジタル教科書をはじめとするデジタルコンテンツをフルに活用、教師の指導や児童生徒の学びを支援する観点から学習ログを活用(多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された学びの実現)		<ul style="list-style-type: none"> 保護者をはじめ社会の意識改革 学校におけるICT活用のPDCA構築 安価な教育用端末市場の構築 	
小学校	小1～小4	イベント 学習者用デジタル教科書の制度化	新学習指導要領 (ICTを活用した学習活動の充実) デジタル教科書の導入拡大			改訂教科書使用開始、デジタル教科書をはじめとするコンテンツの一層の促進	
	端末	環境整備5か年計画に基づく整備 69万台(現状)	地方財政措置を活用し、自治体で3クラスに1クラス分の端末を整備		3クラスに1クラス分達成		
	国費			小3～小4		小1～小2	
	小5～小6	イベント 学習者用デジタル教科書の制度化	新学習指導要領 (プログラミング教育必修化など) デジタル教科書の導入拡大			改訂教科書使用開始、デジタル教科書をはじめとするコンテンツの一層の促進	
	端末	環境整備5か年計画に基づく整備 35万台(現状)	地方財政措置を活用し、自治体で3クラスに1クラス分の端末を整備		3クラスに1クラス分達成		
	国費			小5～小6			
	ネットワーク(国費による無線LAN整備) ※各自治体がLTEやローカル5Gも含め選択	公立全小学校の約8割				環境整備5か年計画	
中学校	イベント	学習者用デジタル教科書の制度化	新学習指導要領 (技術・家庭科(技術分野)でプログラミングの内容充実など) デジタル教科書の導入拡大	新学習指導要領 (技術・家庭科(技術分野)でプログラミングの内容充実など) デジタル教科書の導入拡大	全国学力・学習状況調査 中学校英語調査(高速通信ネットワークなどICT環境との整備状況を踏まえつつ、「話すこと」調査のCBTでの実施を検討)		
	端末	環境整備5か年計画に基づく整備 57万台(現状)	地方財政措置を活用し、自治体で3クラスに1クラス分の端末を整備		3クラスに1クラス分達成		
	国費			中1		中2～中3	
	ネットワーク(国費による無線LAN整備) ※各自治体がLTEやローカル5Gも含め選択	公立全中学校の約8割					
高等学校	イベント	学習者用デジタル教科書の制度化			新学習指導要領 (全生徒情報I必修化など) デジタル教科書の導入拡大 大学入試の調査書の電子化		
	端末	環境整備5か年計画に基づく整備 49万台(現状)	地方財政措置を活用し、自治体で3クラスに1クラス分の端末を整備		3クラスに1クラス分達成		
	ネットワーク(国費による無線LAN整備) ※各自治体がLTEやローカル5Gも含め選択	公立全高等学校					
その他のイベント		ICTを活用した教科の指導法が教員の養成課程で必修化	教育データの標準化、先端技術利用ガイドラインの策定			次期SINET運用開始	
		遠隔・オンライン教育、デジタル教科書・教材、統合型校務支援システム、学習ログの活用促進 学習の定着度合いを把握する手段として、CBTをはじめとしたICTの活用促進 これらに必要な教員養成・研修や指導体制の充実、専門人材の確保、外部人材の参画促進					

1人1台の端末から個人の教育データを収集し、分析、最適な結果を1人1人にフィードバックする個別最適化された学びの実現